

小田急線の複々線化を踏まえた まちづくりと駅改良について

2018年7月20日

小田急電鉄株式会社

小田急線の概要

■ 営業キロ：120.5km

小田原線	新宿～小田原	82.5km
江ノ島線	相模大野～片瀬江ノ島	27.4km
多摩線	新百合ヶ丘～唐木田	10.6km

※乗入区間 千代田線 常磐線
箱根登山線 御殿場線

■ 駅数：70駅

■ 1日平均輸送人員： 207万人(平成29年度)



新宿（日本最大のターミナル）



沿線

- ・ 人気のある居住エリア
- ・ 企業や学校が数多く立地
- ・ 郊外にも乗降の多い駅が多い

箱根（日本有数の観光地・温泉）



江の島・鎌倉（都心に近いリゾート・古都鎌倉）



郊外に拠点となる駅が所在

- 起点から30 km以上の距離（郊外）においても、乗降人員10万人以上の駅（拠点駅）が多い。
- 拠点駅を結んだ都市間輸送が多い。



町田駅



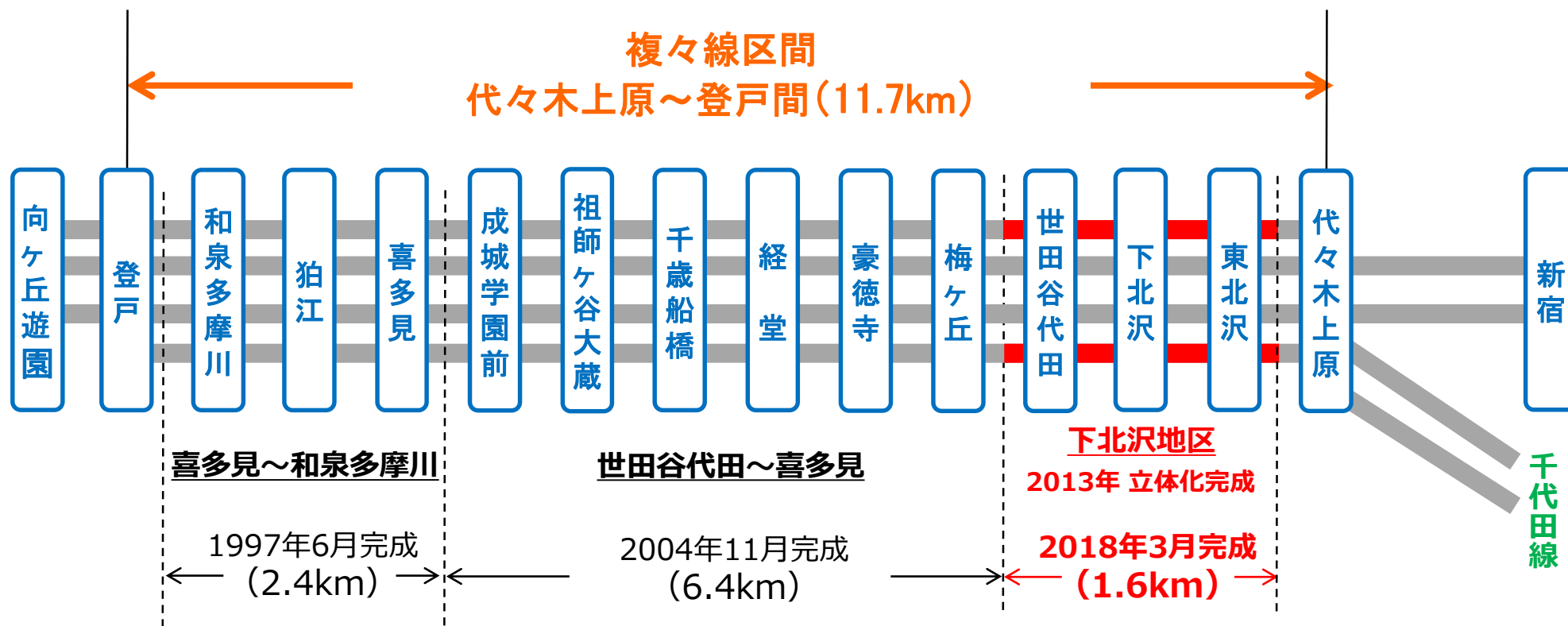
本厚木駅



複々線化の完成

- 複々線化区間 代々木上原～登戸間 約11.7km
- 2018年3月 東北沢～世田谷代田間 1.6 km完成

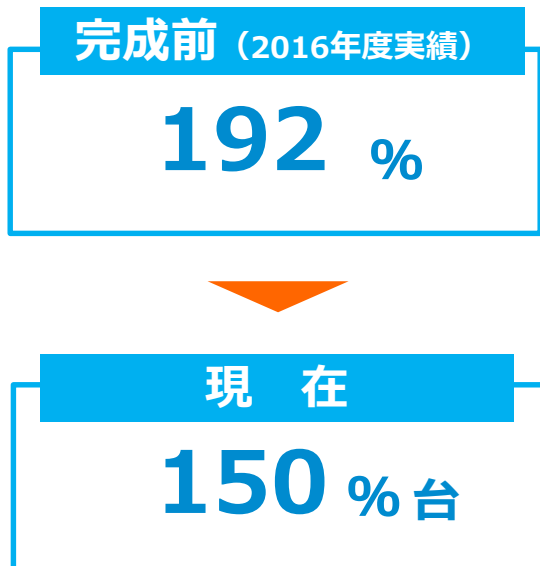




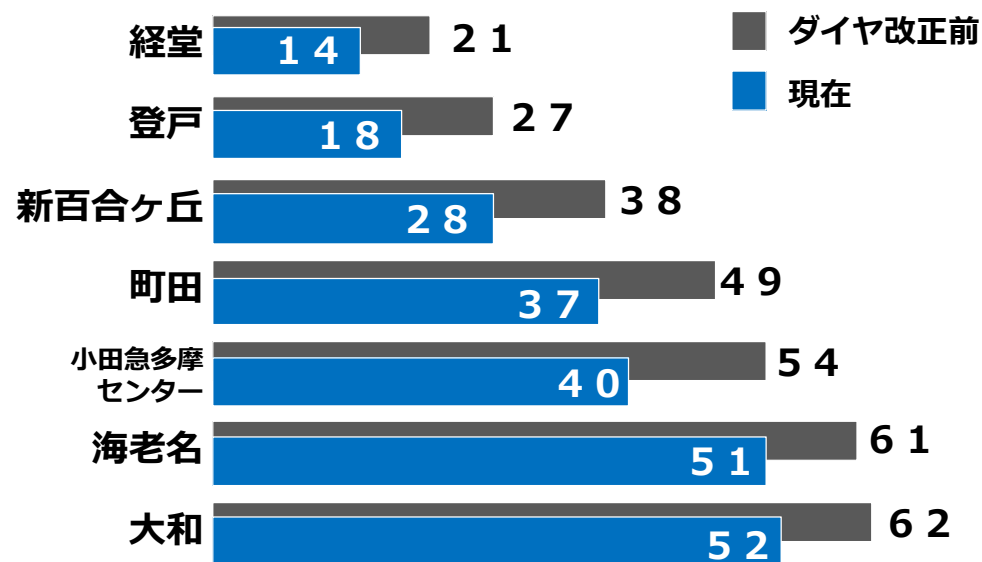
構想から50年、着工から30年をかけた一大プロジェクト
小田急にとって**長年の夢が実現!**

複々線化による効果

■ 最混雑区間（世田谷代田→下北沢間）の平均混雑率の変化



■ 主な駅から新宿までの所要時間の変化



※朝ラッシュ時（下北沢到着 8時前後の1時間）の所要時間

■ 定時性の向上

新宿駅に到着する全列車の平均遅延時間

	完成前	完成後	差
平均遅延時間	1分52秒	1分10秒	△40秒

※朝ラッシュ時間帯 4月の比較

■ 混雑によるトラブル数の変化

	完成前	完成後	差
扉への物挟み	57件	49件	△8件
お客さまの体調不良	149件	148件	△1件

※朝ラッシュ時間帯 4月～6月の3ヶ月間の比較

※お客さまの体調不良は、係員が対応し列車遅延が伴ったもの

■ 小田急のありたい姿を現した“未来フィールド”

モビリティ×安心・快適

安心・快適を土台に、新たなテクノロジーを活かした“モビリティ・ライフ”を提供

観光×経験

日本はもちろん、世界から訪れるゲストに、“特別な思い出”として心に残る経験を提供

くらし×楽しさ

トレンドやお客さまのニーズを捉え、何気ない日々の時間・空間を様々なパートナーと共創することで、“心が動く瞬間”を演出

まちづくり×愛着

まちの個性や特徴を活かした、職・住・商・学・遊のシーンを創り出し、まちの“新しい物語”を紡ぎ出す



わくわく×イノベーション

社員一人ひとりが、主体性と創造性情熱を開放し、“わくわく”をアイデアの源泉として、お客さまに新たな価値を提供する

新宿エリアの課題

新宿駅の課題



閉鎖的な駅空間



駅の存在感不足

新宿駅周辺の課題



動線の交錯



まちとの連続性不足

西口駅前広場をはじめとした、都市施設、鉄道商業施設等の一体的な整備が必要

西口全体整備に向けて

駅前広場整備イメージ

- ◆ 車から、歩行者中心の広場へ
- ◆ 立体的な空間を活かした賑わいづくり
- ◆ 豊かな緑陰等による憩いの空間



※ 本図は当社で描いたイメージであり、関係者間の同意を得たものではありません。

新宿駅改良イメージ

- 始発駅として明るく象徴的な空間作り
- 改札口新設とコンコース拡幅による利便性向上と混雑緩和



跡地利用のゾーニング構想

「にぎわいや回遊性、子育て世代が住める街、文化」

「シモキタ」ショッピングゾーン

- 駅と駅前広場の連続性、回遊性を高める
多様な店舗を展開
- 京王井の頭線との改札口分離

各駅を結ぶ都市機能 (世田谷区)

- ◆ 駅前広場整備
- ◆ 立体緑地、小広場など

世田谷ライフ発信ゾーン

- 子育て世代が住みやすい街に
- 上質な住まいを提供

文化発信ゾーン

- 新たな生活文化を発信
- 生活雑貨店や飲食店を検討



下北沢駅舎 (イメージ)

文化発信ゾーン



下北沢駅2階店舗 (イメージ)

「シモキタ」ショッピングゾーン



世田谷ライフ発信ゾーン



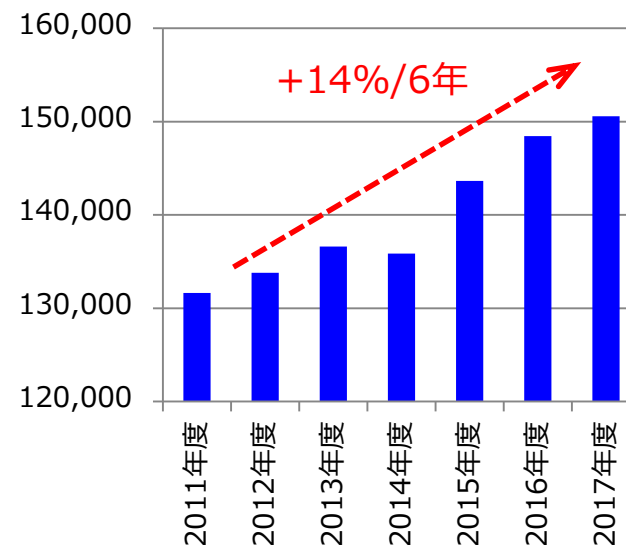
海老名駅前地区の開発計画

「憩う・くらす・育む～VINA GARDENS～」

「くらしエリア」と「賑わい創出エリア」に区分し、魅力ある街づくりを推進中



乗降人員の変化



ロマンスカーミュージアムの建設

Concept 「“子ども”も“大人”も楽しめる鉄道ミュージアム」

- 子どもから大人まで楽しめるコンテンツを展示
 - ・歴代の特急ロマンスカー
 - ・小田急沿線のジオラマ
 - ・運転シミュレーター
 - ・子どもが自由に遊ぶキッズゾーン など

- 小田急線の歴史を伝えていくとともに、**新たな街のシンボルとして賑わいを創出**



駅改良と駅前広場整備事業との連携

駅の課題

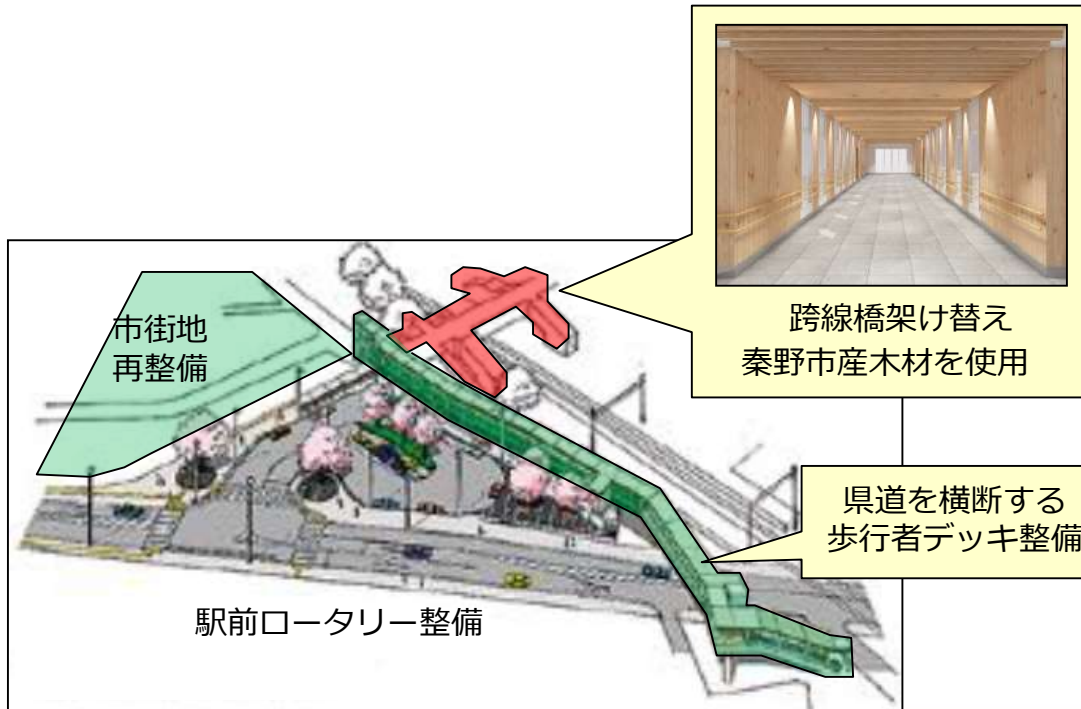
- 改札内跨線橋の老朽化
- EV・ESCが未整備

駅前エリアの課題

- ◆ 県道による駅前エリアの分断
- ◆ 交通結節機能が脆弱

連携施策

- 跨線橋を架け替え、橋上階に改札口を新設、EV・ESC整備
- 跨線橋内部には秦野市産木材を使用
- 歩行者用デッキを整備し、跨線橋の改札口に接続



小田急 × 秦野市
沿線まちづくりの推進に関する連携協定の締結

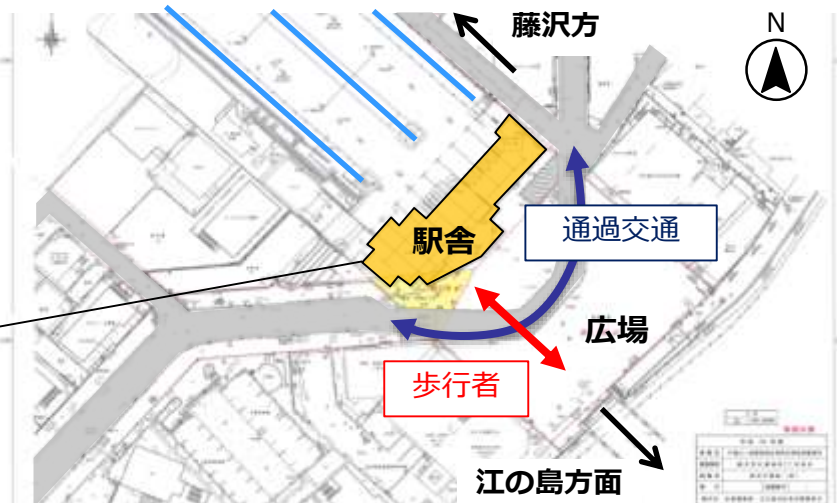
1. 駅の機能向上およびまちづくりに関する連携
2. 地域の活性化および地域の魅力発信に関する連携



片瀬江ノ島駅・駅周辺の課題

片瀬江ノ島駅の課題

- 駅舎の老朽化
- 旅客トイレなどの駅機能の陳腐化



駅周辺の課題

- ◆ 交通結節機能が無い
- ◆ 歩行者と車両の交通が交錯



片瀬江ノ島駅・駅周辺整備の方向性

鉄道側

- 駅舎建替えによる駅空間の質の向上
- 地元からも愛着がある竜宮作りを踏襲



都市側

- ◆ ロータリー整備による交通結節機能強化
- ◆ 駅前を歩行空間として整備し、賑わいを創出



※藤沢市で検討している案であり、変更となる可能性がある

鉄道 × 他の交通モード シームレスな連携

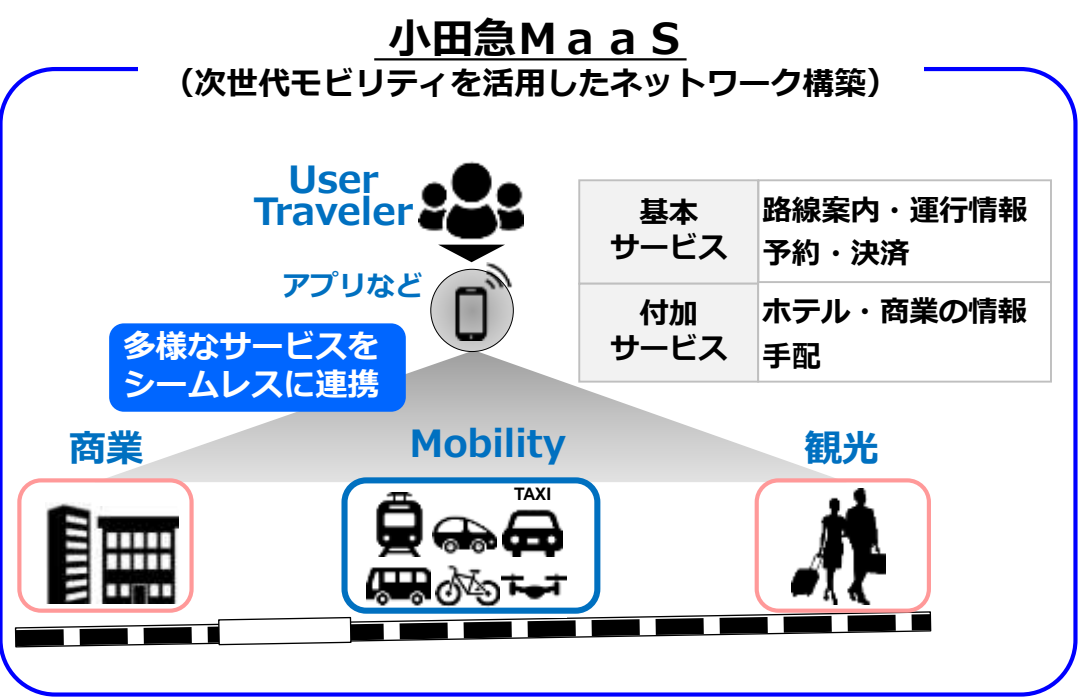
次世代モビリティの活用

- ◆ SBドライブ、神奈川県、江ノ島電鉄と連携し、自動運転バスの実証実験を実施予定



× モビリティネットワークの構築

- ◆ 多様なモビリティを「1つのサービス」として利用者に提供する【小田急MaaS】を構築



小田急沿線における先進的なまちづくりを推進

ご清聴ありがとうございました